



**韓国の人気作家パク・ミンギユ** 1968年に韓国・蔚山(新潟市の友好都市)で生まれた。中央大学卒。奇想天外な発想と着実な文章力により数々の文学賞を総なめにし、2010年には「朝の門」により韓国最高の文学賞である李箱文学賞を受賞。つねにサングラスをかけた特異な風貌で、圧倒的な人気をほこる韓国代表作家の1人である。『三美スーパースターズ最後のファンクラブ』『ピンポン』『亡き王女のためのパヴァーヌ』『カステラ』が新潟市出身の斎藤真理子と吉原育子により日本語に翻訳された。韓国文人たちによるセウォル号事件についての合同評論集『目の眩んだ者たちの国家』に鋭い知性にあふれた表題評論を書いている。

# パク・ミンギユ トーク

翻訳する者とされる者——新潟出身の翻訳家2人と韓国人気作家との素敵なトーク

翻訳家 斎藤真理子(新潟市出身)  
「カステラ」で第1回翻訳大賞受賞



翻訳家 吉原育子  
(新潟市出身)



司会 波田野節子(新潟市在住)  
新潟県立大学名誉教授



主催:「新潟で韓国と北朝鮮の現代小説を読んだり翻訳したりする会」 後援:韓国文学翻訳院

2018年11月23日(金)

午後5時半開場 6時よりトーク(無料)

午後8時より 懇親会(¥3,000)

懇親会のお申し込みは店頭かメールで!

北書店 sato@kitashoten.net

新潟市中央区医学町2ダイアパレス1F

025-241-7466